

教科研究主題

「主体的に学び表現する生徒の育成 ～「根拠を明確にして表現すること」の学習を通して～」

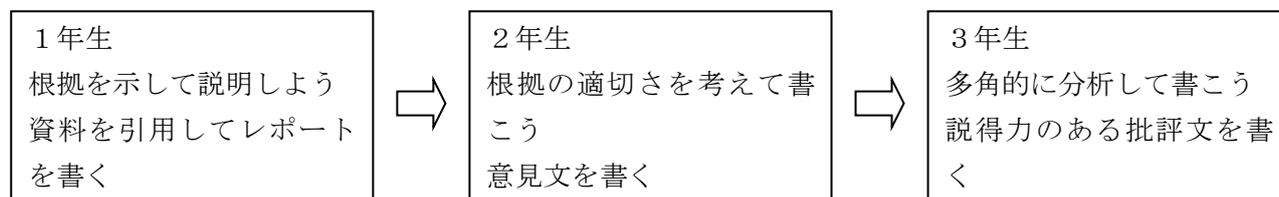
1 単元名 多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く

2 単元について

(1) 単元観

本単元では、自分の考えがわかりやすく伝わり、多様な読み手を説得できるような批評文を書くことがねらいである。批評文とは、対象となる事柄の特性や価値などについて、根拠をもって論じたり評価したりした文章のことである。説得力のある批評文を書くには、評価する対象を客観的に分析し、根拠を明らかにして述べることが求められる。また、構成を工夫したり、表現を考えたりすることも大切である。本単元では、対象となる事柄に適した観点に気付かせ、問いを立てて分析させることで、自分の考えを深めさせたい。さらに、意見交換などを通して様々な角度から考えることで、説得力のある批評文を書くことにつなげたい。学習の振り返りでは、説得力をもたせるために題材を分析すること、根拠を明らかにして書くこと、構成や表現を工夫することが今後の学習や日常生活につながることに気付かせたい。

(2) 指導内容の系統性



1年生「根拠を示して説明しよう」では、根拠を示すことの重要性を学習し、さまざまな資料を活用しながら引用し、レポート作成を行った。2年生「根拠の適切さを考えて書こう」では、意見文を書く上で根拠を示し、その根拠は適切なものであるかを考えながら作文を書く学習を行った。

1、2年生の学習を踏まえ、3年生では「多角的に分析して書こう」を学習する。それぞれが多角的な根拠を示すための情報を収集しながら分析し、説得力のある批評文を書く学習を行う。適切な根拠を示し、多角的な視点で物事を考え、意見することのできる生徒を育てていきたいと考える。

3 単元に対する生徒の実態

(1) 調査結果 調査人数 17名 調査実施日 7月17日

質問		生徒の回答			
生活記録帳について	1. どのくらいの頻度で提出していますか。	◎毎日出している 11人	○ほぼ毎日出している 4人	△あまり出していない 2人	×出していない 0人
	2. 書く内容に困ることはありますか。	◎悩まずにすらすら書ける 4人	○書くことに困ることがある 11人	△困ることが多い 2人	×いつも困っている 0人
	3. どんな内容を書いていますか。 ※記述回答 ※複数回答可	A 今日あった出来事 7人 C 授業や勉強のこと 7人 E 家でのこと 4人 G 夕飯のこと 2人 I 友人のこと 2人	B 部活動のこと 8人 D 考えたこと、感じたこと 3人 F 塾のこと 2人 H 出かけたこと 2人		
日記	自主的に、日々の記録をつけていますか。	つけている 0人	つけていない 17人		
SNSについて	4. SNSを活用していますか。	○活用している 15人	×活用していない 1人	／無回答 1人	
	5. どのように活用していますか。 ※複数回答可	A 自分からよく投稿をする 4人 C コメントをよく投稿する 1人 E リアクションをつけるだけ 5人	B 自分からたまに投稿をする 7人 D コメントをたまに投稿する 1人 F 見るだけ 4人		
実力試験の作文問題	6. 6月実施の「第1回実力テスト」での得点は、どれくらいでしたか。	10点満点 1人 5点程度 2人 0点 2人 ／無回答 1人	8点程度 2人 3点程度 1人 △書かなかった 8人		
	7. 書かなかった理由は何ですか。 ※書かなかった生徒のみ回答	A 時間がなかった 5人 B 何を書いていいのかわからなかった 2人 C パッと見て「作文だから」とぼした 1人 D 書く気がなかった 0人			
	8. 作文を書くうえで困っていることはありますか。 ※複数回答可	A 漢字が書けない 2人 C 課題内容が理解できない 4人 E 文章の構成に困る 9人 G 用紙の半分も書けない 2人 I しっかり書いたのに減点される 4人	B 原稿用紙の使い方がわからない 0人 D 自分の意見がもてない 2人 F 説得力がない 6人 H 自分の言葉遣いに自信がない 4人 ／無回答 2人		
表現方法	9. 自分の考えを発信するとき、あなたが使用したい手段は何ですか。	A 手書きの作文・レポート 3人 C スピーチ（音声録音） 2人	B 文章作成ソフト 11人 ／無回答 1人		

生徒	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	○	◎	○	◎	◎	△	◎	○	◎	◎
2	○	◎	◎	○	◎	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
3	A	A B C	A	D	G H	B C E	A	E I	B C G	A	A B	B C F	A B F H I	B C D E	D	B C E	C
4	○	○	/	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	B	E	/	B D E	E F	/	A C	B	A	B	A	B	A	B E	B E F	F	F
6	△	10	/	△	△	8	△	0	△	3	5	△	△	5	8	△	0
7	A	/	/	A	B	/	B	/	C	/	/	A	A	/	/	A	/
8	F G I	C F H I	/	E F	/	H	C E	E	E I	E F H	E H I	D E	C E F	C F	A	D E	A G
9	B	B	/	A	C	B	B	B	B	B	B	C	B	A	B	A	B

## (2) 考察

提出が求められているもの（生活記録帳）は9割近くの生徒が提出できており、身近なことから話題を見つけて、ほぼ毎日提出することができているが、自主的に自分の生活を記録し、書き残そうという習慣のある生徒はいないようである。また、コミュニケーション手段として、9割の生徒がSNSを活用しており、「自分から発信する」という生徒も多く、「自分の思いを文章化して発信すること」を嫌がってはいないよう見受けられる。一方で、実力テストのような「正しく書くこと」が求められるものについては、約5割の生徒が「書かない」ことを選択していた。書かなかった生徒の中には、時間が無い、何を書いているのかわからないと回答した生徒もあり、時間が十分にあったら書くことに挑戦した可能性は考えられる。

「書くことへの困り感」については、原稿用紙の使い方を挙げた生徒はおらず、漢字が書けない、自分の意見が持てない、課題内容が理解できない等と回答する生徒は少数であったが、一方で「文章をどう構成したらいいかわからない」と答えた生徒が多かった。「書く内容」は何となく浮かんではいないが、どう書いていったらよいかに困っている生徒が半数に上っている。そのため、書き出しについて困っていたり、論理をどう展開させればよいか悩んでいたりする生徒に対して、教員からのアドバイスだけでなく、生徒同士の学び合い活動を取り入れながら支援していきたい。また、「しっかり書いたつもりなのに減点される」と感じている生徒が3割ほどいることから、「読み手の立場に立って読み返す」ことを求めている。

作文を書くにあたっては、文章作成ソフトを活用した発信方法を約6割の生徒が求めていることも考慮し、文章を書くツールとして、手書きだけではなく、タブレットの活用も奨励していきたい。

#### 4 単元の目標

- (1) 具体と抽象など情報との関係について理解を深めることができる。 【知識及び技能】
- (2) 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】

#### 5 指導計画（4時間扱い 本時は2時間目）

実践モデル過程	時	学習活動	観点別評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
見いだす	1	○「批評」について考え、学習の見通しをもつ。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	○関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書いている。	○これまでの生活を振り返り、関心のある事柄について自分の考えを書こうとしている。
自分で取り組む	1 本時	○批評する対象について、観点を基に分析し、自分の考えをもつ。 ○目的や意図に合わせた引用のための資料を探す。	○具体的な題材を基に、その価値について自分の考えをまとめている。	○観点を基に、問いと自分の考えを書き、表にまとめ、分析している。	○多角的に題材をとらえ、観点を基に分析しようとしている。 ○自分の主張を補強するための資料を積極的に探している。
広げ深める	1	○分析したことを基に、構成を考え、批評文を書く。	○説得力のある批評文にするために、効果的な構成を考えて書いている。	○多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	○分析したことを基に、効果的な構成を考え、説得力のある批評文を書こうとしている。
まとめあげる	1	○構成表を基に内容を推敲し、批評文を仕上げ、単元のまとめと振り返りをする。	○批評に有効な観点や言葉、説得力を高める工夫などについて語り合い、共有している。	○意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。	○この学習を今後どのように活かすかを考えようとしている。

6 本時の指導

(1) 目標

批評する対象について、自分で観点を設定し、問いを立てて分析することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

(2) 教科研究仮説との関連

【教科研究仮説】

- ①見通しをもったり、振り返ったりする活動を計画的に取り入れれば、生徒は主体的に学習するだろう。
- ②一人一人が自分の考えを明確にするために、言葉による見方・考え方を働かせ、考えを形成する場や互いに学び合う場を設定すれば、主体的に学び表現する生徒が育つだろう。

①に関して、学習計画表を配付し、単元の見通しをもたせ、同時に振り返りも行っている。生徒が先を見通しながら、主体的に学習する習慣を付けさせている。

②に関して、本時の学習では個人の考えを形成する場や、グループ学習を通して互いに学び合う場を設定する。適切な根拠を示し、自分の考えを相手に伝え、表現できる生徒の育成を目指していきたい。

(3) 展開（4時間扱い 2時間目）

過程	時配 (形態)	学習活動と内容	○指導上の留意点・支援 ◎評価 ※研究との関連	教材 資料
見 い だ す	5分 (一斉)	1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。	○数名の生徒を指名し、分析の観点を確認し、本時の学習への雰囲気作りをする。 ※本時の学習の見通しをもつ。	学習 計画 表  電子 黒板
		徹底分析！～問いをもって資料を分析しよう～		
自 分 で 取 り 組 む	25分 (一斉) ↓ (個別) (グループ)	2 批評する対象を基に、観点を設定し、分析する。 (1) 企業の広告を基に、観点を設定し、問いを立てる練習をする。		広告
広 げ 深 め る		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">予想される生徒の反応</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピー・・・「先生」とは、この場合どういうことを言っているのか？</li> <li>・制作者の意図・・・この広告で何を伝えたかったか？</li> </ul>	○問いを考えられているか、机間指導で確認する。  ○書けていない生徒には、簡単な疑問でもよいから書いてみるよう助言する。(T2)	ワー クシ ート

		<p>(2) 気になる町の広報誌を選び、観点を設定し、分析する。</p> <p><b>予想される生徒の反応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピーと写真との整合性について</li> </ul> <p>例) 「心を燃やす」とはどういうことか。「笑顔であふれた」といえるのはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩について</li> </ul> <p>例) なぜこの色彩を選んだのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真について</li> </ul> <p>例) この写真はふさわしいものか。</p>	<p>○分析をする際は、必ず根拠を示すように助言する。(T2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いつかない生徒には、グループを組む等、学びの調整を図らせる。</li> <li>・早く書き終わった生徒には、他の広報誌にも挑戦するように助言する。</li> </ul> <p>◎観点を決め、問いと考えを自分の言葉でまとめているか。(ワークシート観察)</p>	<p>広報</p> <p>ワークシート</p>
<p>自分で取り組む</p> <p>広げ深める</p>	<p>15分 (個別)</p>	<p>3 今回の批評文で、自分が主張したいことは何かを考え、それを後押ししてくれる資料(引用資料)を探す。</p> <p><b>予想される生徒の反応</b></p> <p>例) この月の広報誌が最も伝えたいことは、入学生の明るい未来である。</p> <p>例) この月の広報誌が最も伝えたいことは、コロナ禍が明けた喜びである。</p> <p>例) 資料探しのために、インターネットで検索する。</p> <p>例) 資料集めのために、友人に意見を聞きに行く。</p>	<p>○主張を考えられているか、机間指導で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張が書けない生徒には、観点の分析を基に書いてみるよう助言する。(T2)</li> <li>・引用する資料(データや専門家の言葉)を見つけられない生徒には、周囲の人がどのように考えたり、感じたりしているか、聞いてみるように助言する。</li> </ul>	<p>ワークシート</p>
<p>まとめあげる</p>	<p>5分 (個別)</p>	<p>4 本時の学習のまとめを行う。</p>	<p>※学習計画表に、本時の学習の振り返りを記入させ、次回から批評文を書ける準備をしておくよう助言する。</p> <p>※本時の学習について、わかったことやできるようになったことを、自分の言葉で書かせることで、自分の思考を振り返らせる。</p>	<p>学習計画表</p>

(4) 板書計画

多角的に分析して書こう  
説得力のある批評文を書く

徹底分析！～問いをもって、資料を分  
析しよう～

図(例)  
企業の広告

【観点の例】

- ① 構図
- ② キャッチコピー
- ③ 意図
- ④ 登場人物
- ⑤ 文字
- ⑥ 色彩
- ⑦ 写真